

お客様の声

患者ケアを改善する取り組み

2006 年に設立された SOFIE は、分子診断と治療薬の進歩に取り組んでおり、とりわけ陽電子放射断層撮影（PET）製品を重点分野としています。放射性医薬品の製造・流通ネットワークを世界規模で展開し、受託製造サービスを提供して、患者ケアの向上という使命に臨んでいます。

アジレントとの長期的なパートナーシップ

SOFIE とアジレントの関係は長年にわたり続いており、その中で 6850 GC が信頼性の高い主力機器として活用されてきました。そのため、アジレントが新製品 8850 GC を発表したとき、SOFIE のチームはラボの運用能力を高める機器として大きな期待を寄せていました。

「私たちは誰よりも 8850 の発表に胸を躍らせていました」と SOFIE の放射性医薬品受託製造担当ディレクターである Julian Nwoko 氏は語ります。

8850 GC は、小さな設置面積という 6850 の特長を受け継いでいます。ラボスペースが貴重で、機器の移動が必要になることもある SOFIE にとって、コンパクトさは不可欠な特長でした。小型の 8850 は、動的なラボ環境に最適です。

重要なアプリケーションをサポート

SOFIE の GC システムの最重要アプリケーションの 1 つに、残留溶媒分析があります。これは同社の多くの放射性医薬品の重要な出荷判定基準となっています。こうした分析には、分離能やピーク形状など、クロマトグラフィーパラメータに関する厳しいメソッド要件を常に満たす機器が求められます。

診断薬および治療薬サンプルの組成は多岐にわたるため、機器の堅牢性は必須の要件です。

8850 GC が打ち立てる新たな基準

8850 GC には、6850 を上回る大きな利点があります。

- Agilent GC で最高速の昇温と冷却
- 業界最高水準の検出器性能
- ガイド付きメンテナンスやピーク評価など、多様な GC インテリジェンス機能



Julian Nwoko 氏

放射性医薬品
受託製造担当ディレクター
SOFIE

Nwoko 氏によると、直感的なユーザーインタフェースによって、新規ユーザーのトレーニングが容易になり、トラブルシューティングとメンテナンスが効率化しました。また、ブラウザベースのインタフェースにより、地域オペレータとグローバルチームのメンバーの両方について、リアルタイムのデータを把握できるようになりました。

特筆すべき利点の 1 つは冷却速度の向上であり、これがサイクルタイムの短縮と製品出荷の加速につながりました。半減期の短い放射性標識化合物に関しては特に重要な点です。ただし、機器の速度は正確さと精度を犠牲にして成り立つものであってはなりません。8850 はこの点が優れています。

Nwoko 氏は次のように語ります。「8850 は、当社が所有するすべての GC の中で最も精度が高い機器です。GC のあるべき姿を示す基準となっています。」

DE-015217

本資料に記載の情報は、予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2026
Printed in Japan, June 3, 2026
5994-9280JAJP